

2020 年度SDGs未来都市等提案書(提案様式1)

令和2年3月2日

福知山市長 大橋 一夫

提案全体のタイトル	自然の恵みと人財育成で創生する「幸せの舞台」福知山
提案者	京都府福知山市
担当者・連絡先	

# 1. 全体計画（自治体全体でのSDGsの取組）

## 1.1 将来ビジョン

### （1）地域の実態

#### （地域特性）

##### <地勢、位置>

由良川流域の福知山盆地にひらける福知山市は、昭和12年4月に京都府で2番目の市として誕生した。それ以後、数度の合併を繰り返し、市域を広め、平成18年1月1日に、福知山市・三和町・夜久野町・大江町の1市3町が合併し、新しい「福知山市」としてスタートした。

京都市からは60km、大阪市からは70kmの距離にあり、国道9号をはじめとする多くの幹線道路や舞鶴若狭自動車道、JR山陰本線・福知山線および京都丹後鉄道宮福線などが通る交通の要衝であり、交易が盛んな「商業のまち」として発展し、京阪神と丹波・但馬・丹後地域、山陰地方を結ぶ、北近畿の玄関口でもある。

##### <産業、自然、文化>

本市は、内陸工業団地として当時、日本最大規模（総面積400ha）の長田野工業団地が完成・操業するなど、北近畿地域の中核的な都市としてまちづくりを進めている。

また、府内第2位の広さを誇る豊かな森林地域があり、農林畜産業が盛んな地域でもある。豊かな植生と「鬼の伝説」で知られる大江山連峰、実り多い夜久野高原や日本の原風景を残す里山など、古くから自然との共生を大切にしてきた。

##### <治水の歴史>

市内を流れる一級河川「由良川」は、水運として利用されるなど、多くの恵みをもたらすとともに、氾濫により度重なる洪水を引き起こしてきた。これは福知山城を築き、城下町を整備した明智光秀が水害を防ぐために川沿いに「明智藪」を築いたと伝えられている歴史からも伺えるところである。近年では、気候変動による豪雨のリスクが高まり、平成30年7月豪雨災害を含め過去5年間で4度の大きな災害も発生している。このように本市の歴史は水害と戦ってきた歴史でもあり、古くから治水対策に取り組んできた。

##### <人口動向>

人口の動向をみると、平成に入ってから約82,000人を前後に横ばい状況が続けてきたが、平成12年にピークを迎えると、その後は一貫して減少傾向となり、平成22年と平成27年の国勢調査によると、5年間で717人、0.9%減と人口減少が加速している。国立社会保障・人口問題研究所による将来人口予測では、2030年には73,707人（2045年には66,589人）にまで減少すると想定されている。

なかでも、生産年齢人口の減少率ももっとも大きく、20歳代前半の若い世代の転出超過による人口減少への対策が求められている。しかし、北近畿地域の自治体としては、過

口減少率をもっとも小さく、合計特殊出生率は 1.96 と京都府で1位、近畿で2位、全国でも 14 位と非常に高くなっている。

#### ＜北近畿地域の活性化に向けた主な取組＞

このような状況のなか、平成 28 年4月に本市が設置・開校した「福知山公立大学」は北近畿唯一の4年制大学であり、北は北海道、南は沖縄県から入学しており、全国から若者が集まっている。地域に開かれた大学として府北部地域や隣接する兵庫県の自治体と包括連携協定を結び、本市のみならず北近畿地域の発展に寄与できる大学を目指している。令和2年4月に情報学部を新設し、高度情報化社会に対応できる人材の育成を開始するとともに、隣接する京都工芸繊維大学福知山キャンパスと連携し、北近畿地域の地方創生を牽引する「知の拠点」と位置付け、地域を担う人材の育成、地域産業の振興、生涯学習の充実を図っている。

また、人口減少問題や高齢化社会への対応という、同じ行政課題を持つ京都府北部地域の6市町や隣接する兵庫県北部の丹波市、朝来市と広域連携事業に取り組んでおり、移住定住促進事業や合同就職フェアの開催、図書館の相互利用等の連携を行っている。

さらには、北近畿の交通の要衝という地理的な好条件もあり、京都府北部の総合就業支援拠点である「北京都ジョブパーク」や、経営、人材育成、起業に関する企業の相談所である福知山産業支援センター「ドッコイセ！biz」（以下、「ドッコイセ！biz」という。）を本市中心部の福知山駅前に設置しており、本市のみならず、北近畿一円の産業活性化に貢献している。

#### （今後取り組む課題）

本市の合計特殊出生率は 2007 年まで減少傾向であったが、その後増加に転じ、1.96 となっている。京都府平均の 1.24、全国平均の 1.42 と比較すると非常に高いが、国勢調査によると、65 歳以上の老年人口は 9.0%増に対し、15 歳未満の年少人口の増減率は 3.2%減、さらに、15 歳から 64 歳までの生産年齢人口は 5.2%減と減少率が高い。特に、15 歳～19 歳が 20 歳～24 歳になる段階での転出が多く、高等学校卒業後、進学や就職を機に転出する若者が多く、また、その後のUターン者が少ないという要因がある。

若者の転出を抑制し、Uターンを促進するため、既存産業の活性化を図るとともに、起業・操業支援、サテライトオフィスの誘致など、産業の多様化を図るとともに、魅力ある働く場の創出を図る必要がある。また、福知山公立大生の多くは他府県出身者であり、卒業後も当地域に留まり、転入者増につなげるため、大学、企業、行政が連携した地域産業の活性化、雇用促進、シティプロモーションの推進に努める必要があるとともに、子育て支援や防災・防犯が充実し、誰もが安全・安心して暮らせ、自然と共存し、幸せを感じるまちづくりが求められる。

## (2) 2030年のあるべき姿

### 【2030年のあるべき姿】

これまで多くの先人が守り育ててきた水清く緑豊かな自然や伝統ある歴史・文化を引き継ぎ、福知山市市民憲章「幸せを生きる」の理念である、誰もが住んでみたい、住み続けたいと思える福知山市をつくっていくとともに、将来の世代が地域に誇りと愛着を持ち続けるまちづくりを進めていく。

#### 1 地域の資源を活かし、新しい人の流れ、しごとをつくり安心して働けるまち

人口減少を抑制し、地方創生を推進するため、福知山公立大学とドッコイセ！bizを基軸として、地域の個性と資源を活かし、新産業の創造も含めた地域産業の活性化に取り組んでいく。併せて、将来に向けて、地域産業の担い手となる人材の育成、確保を実現する。

そのため、都市圏在住の移住希望者に向けた福知山市への移住の促進や福知山市出身者の地元就職率向上によって、新しいひとの流れづくりに取り組み、「しごと」と「ひと」の好循環の確立を目指す。

#### 2 災害に強い安心・安全に暮らせるまち

近年、多発する局地的な大雨による土砂災害や由良川をはじめとする洪水災害、市街地等の浸水災害等への危機対応の強化が求められているなか、国土交通省、京都府、福知山市の3者が連携し、河川調節池の設置やため池の整備等により浸水被害の軽減を目指した治水対策を進めている。

このような治水対策にとどまらず、風水害や地震等の大規模災害から市民の生命・財産を守り、安心・安全に生活できる環境形成を目指すとともに、防災や減災に対する市民の意識を高め、自主的に行う防災活動、防犯対策の取組とあわせ、安心・安全に暮らせるまちづくりを目指す。

#### 3 ふるさとの美しい自然の恵みに感謝し、環境と共生するまち

環境との共生が世界的に大きな課題として取り上げられるなか、由良川をはじめ、その支流である土師川、牧川、宮川等の河川や丹後天橋立大江山国定公園の大江山や三岳山等の自然の恵みに感謝し、その美しい自然を守り、限りある資源を効率的に活用するとともに、大型台風や局地的豪雨の原因でもある地球温暖化対策に向けて、再生可能エネルギーの普及に向けた取組や省エネルギー化を推進し、その普及率を高めていくことと併せ、エネルギー事業を基点として生み出される新規事業による地域経済の活性化による持続可能な低炭素・循環型社会の実現を目指す。

また、環境保護をはじめ、ゴミ減量化等のボランティア活動の取組を全市的に拡大することによって、地域の自然を守る郷土愛を醸成し、誰もが地域の一員となって、ふるさと福知山を「幸せの舞台」にしていくまちづくりを目指す。

(3) 2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール、ターゲット

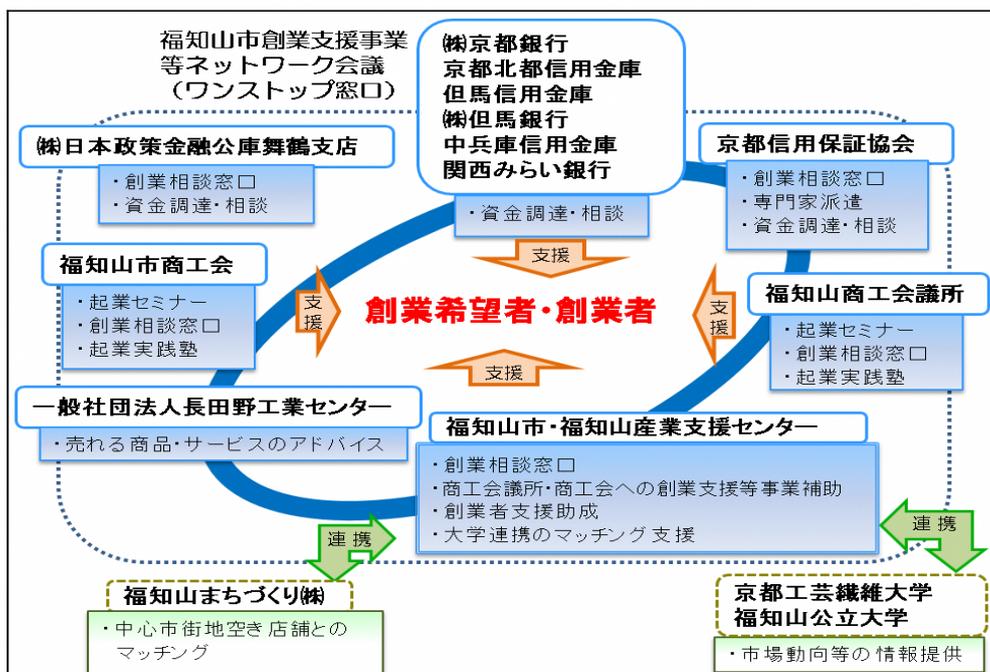
(経済)

ゴール、 ターゲット番号	KPI(任意記載)	
 4, 3 4, 4	指標: 就業者数	
	現在(2015年10月): 39,543人	2030年: 39,000人
 8, 3 8, 5 8, 6	指標: 福知山市創業支援等事業ネットワーク会議による創業支援 による創業者数	
	現在(2019年3月): 年間23人	2030年: 2020年~2030年 累計320人
 8, 8 9, 2		

ドッコイセ! bizや福知山商工会議所、福知山市商工会等による経営相談機能を活かし、販路拡大、新商品開発等を促進し、既存産業の育成、活性化を図るとともに、福知山公立大学と連携した若者の起業、創業支援を行い、ビジネスチャンスの拡大を図る。

また、本市の産業の中核である長田野工業団地立地企業の増設、工場建て替えに関する優遇制度の充実や「長田野工業団地利活用増進計画」に基づく、団地内環境の整備を図るとともに、空き区画がある三和地域内団地(長田野工業団地アネックス京都三和)の企業誘致を一層促進し、産業の活性化による雇用の拡大を図る。

こうした産業活性化の取組と連動し、ハローワーク福知山や京都府北部地域の就業支援拠点である北京都ジョブパーク等と連携した人材確保を行う。



(社会)		
ゴール、 ターゲット番号	KPI(任意記載)	
 11, 3	指標: 人口減少率の抑制	
	現在(2018年3月): 2015年から2030年までの 人口減少率 6.6%	2030年: 2015年から2030年までの 人口減少率 2.2%
 8, 8  11, 3	指標: 転入超過数	
	現在(2020年): -338人	2030年: プラスへの転換

人口減少を抑制し、人口減少問題に対応するため、まずは本市の高い合計特殊出生率を維持することが重要であることから、妊娠・出産・就学前・就学後において切れ目なく包括的に支援するとともに、子育て家庭の多様なニーズに対応するなど、さらなる子ども・子育て支援施策の充実を図る。

また、福知山市の魅力の創出と効果的な情報発信によって、本市の認知度を高め、地域ブランドイメージの強化を図るため、シティプロモーションの推進を進め、ワンストップ窓口体制や希望者のニーズに応じたきめ細やかな移住定住施策の実施、将来的な移住・定住につながる関係人口の拡大・創出に関する施策を近隣市町と連携して取り組み、人口減少の抑制、交流人口の拡大による地域活性化を図る。

さらには、北近畿の地方創生を牽引する「知の拠点」となる福知山公立大学と京都工芸繊維大学の文理連携を推進し、地域を担う人材の育成、若者の定着、産業振興等により地域活性化を図る。

(環境)		
ゴール、 ターゲット番号	KPI(任意記載)	
 7, 2 7, 3	指標: 再生可能エネルギー自給率	
	現在(2017年): 3.6%	2023年: 6.4%以上
 12, 2	指標: RE100に取り組む企業数	
	現在(2019年3月): 0社	2030年: 10社

大江山や三岳山等の山々や、由良川及びその支流の水清き美しい自然の恵みに感謝し、自然を守っていくため、森林保全や美化活動等の自然保護活動を推進するとともに、2019年4月に行った「福知山市クールチョイス宣言」に基づき、局地的豪雨や大型台風の原因となる地球温暖化対策を進めるため、住宅への再生可能エネルギー・省エネルギー導入の推進や、地球温暖化対策を担う人材の育成、脱炭素社会に貢献できる行動を地域全体に広げ、環境に配慮した資源循環型社会の構築を目指す。

## 1.2 自治体SDGsの推進に資する取組

※SDGs未来都市選定後の3年間(2020～2022年度)に実施する取組を記載すること。

(1)自治体SDGsの推進に資する取組		
①産・学・官の連携によるSDGs推進体制及びネットワークの拡大		
ゴール、 ターゲット番号	KPI(任意記載)	
 17, 17	指標: SDGs推進協力会員企業・団体数	
	現在(2020年2月): —	2022年: 30社(団体)
<p>・SDGs3F(Fukuchiyama・Future・Friendship)会員の拡大</p> <p>産・学・官の連携によるSDGs推進体制のもと、未来に向けて、市民・民間企業等が友好的に協力連携するシステムを構築するため、SDGsのゴールやターゲットの達成につながる取組を実践する企業をSDGs3F会員として認証し、会員相互間の交流の促進、連携による取組強化、情報発信等により会員の拡大を行い、全市的にSDGs推進活動を拡げていく。</p> <p>また、本市のシティプロモーションのブランドメッセージである「いがいと！福知山」を使用したInstagramの公式アカウント「#いがいと！福知山」による情報発信を拡大することによって、SDGsをさらに市民身近に感じてもらうとともに、より多くの人にSDGs推進の必要性を訴求することにつなげ、協力連携の輪を強化、拡大していく。</p> <p>福知山市のシティプロモーションのブランドメッセージ 「いがいと！福知山」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>いがいと！福知山って、 便利で暮らしやすい いがいと！福知山って 自然もゆたか いがいと！福知山って 子どもと一緒に遊びに行ける場所が多い いがいと！福知山って おしゃれなカフェや、おいしいお店がたくさんある いがいと！福知山って…</p> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;">  </div>		

②子ども・子育て支援の充実による合計特殊出生率の維持

ゴール、 ターゲット番号	KPI(任意記載)	
 4, 1 4, 2	指標: ②子ども・子育て支援の充実による合計特殊出生率の維持・向上	
	 4, 6 4, a 11, 7	現在(2020年2月): 1.96

子ども・子育て施策を包括的に推進し、不安や負担を抱える子育て家庭の多様なニーズに対応するため「子育て総合相談窓口」におけるワンストップ対応で利便性を向上させる。

また、学校・医療機関等、子どもと関わる関係機関との連携強化、地域子育て支援拠点施設の開設、翻訳機を活用した外国語での相談、LINEを活用してオンラインで直接相談できる専用チャンネルの運用等により、子どもの成長段階、家庭の事情に応じて切れ目なく寄り添う仕組みを整え、あらゆる側面から子育てサポートを行える体制づくりにより、合計特殊出生率を維持・向上させるとともに、出生数の増加を目指す。

# LINE で 子育て相談



妊娠・出産・子育ての悩み、  
保育園や幼稚園のこと、  
ひとり親に関することなど・・・  
どんな小さなことでも大丈夫！  
気軽に相談してね。

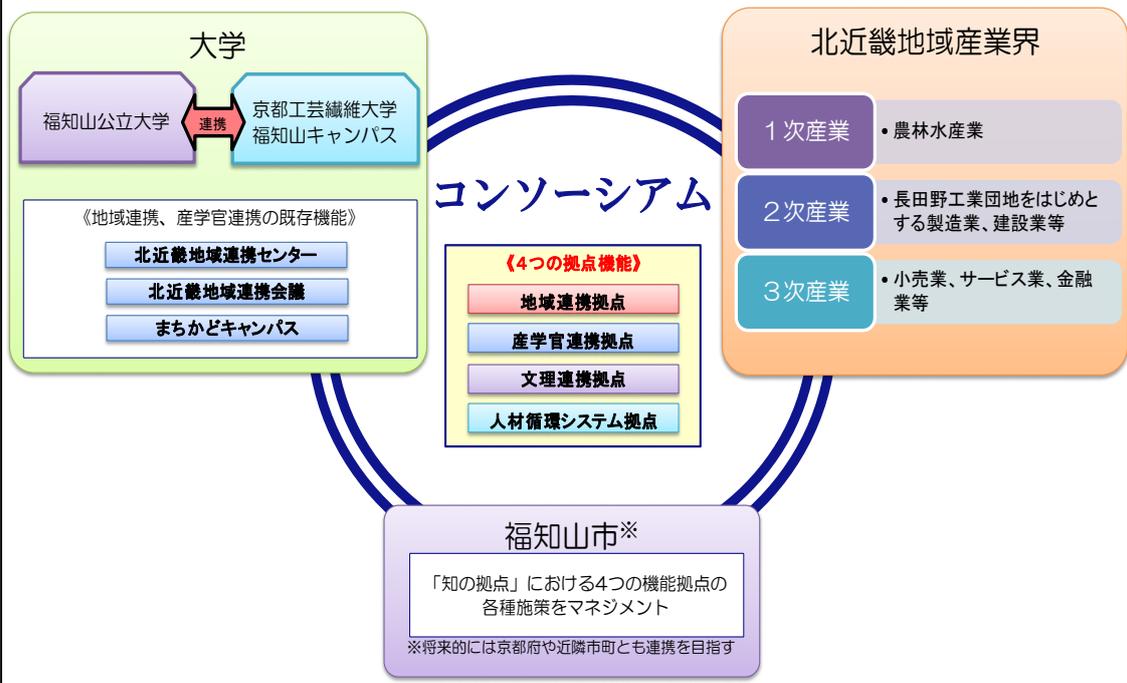
### ③福知山公立大学「知の拠点」推進体制の構築による若者雇用の創出

ゴール、ターゲット番号	KPI(任意記載)	
 4, 3 4, 4 8, 6 9, 2	指標: 福知山公立大学卒業生の北近畿地域への就職者数	
	現在(2018年):	2022年:
	4人	30人

福知山公立大学と隣接する京都工芸繊維大学福知山キャンパスを「知の拠点」とし、地域課題解決や高度情報化に対応できる人材の育成を行うとともに、ハローワーク福知山や北京都ジョブパーク等の就業支援機関や近隣自治体、北近畿地域の産業界と連携し、学生の9割以上が市外出身者である福知山公立大学生の雇用を創出し、卒業後も当地域に留まり、地域の産業振興を担う人材として活躍することによって、地域産業の活性化を図る。

### 「知の拠点」推進体制

- ①地方大学(福知山公立大学、京都工芸繊維大学福知山キャンパス)の振興による地方創生
- ②情報(IoT、AI、ビッグデータ等)を核とした産学官連携による北近畿地域の産業振興と住民福祉の向上
- ③地方創生を担う人材の育成、若者雇用の創出による地域活性化



#### ④クールチョイス推進事業

ゴール、ターゲット番号		KPI(任意記載)	
 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	7, 2	指標:クールチョイス推進事業実施数	
	7, 3	現在(2020年2月):	2022年:
	7, a	5事業	20事業
	12, 2		
 12 つくる責任 つかう責任			

世界的な気候変動への対策とSDGsへの取組を進めるため、2019年4月23日に「福知山クールチョイス宣言」を行い、地域公共交通の利用促進や、省エネルギー・再生可能エネルギーの普及促進、エコ防災の推進、地球温暖化対策を担う人材の育成等、脱炭素社会に貢献できる行動、サービス、商品などを賢く選ぶ「クールチョイス(賢い選択)」を地域全体で共有し、地域内で「環境・経済・社会」の好循環が図れる取組を進めていく。

また、再生可能エネルギーの地域循環に関する環境教育活動により、一般家庭の卒FIT太陽光発電の電力を地域の小売電気事業者「たんたんエナジー株式会社」が購入して供給する市民参画による再生可能エネルギーの普及展開を図るため、エネルギーの域内循環モデルの構築を行う。

さらに、3R(リデュース・リユース、リサイクル)に対する市民の意識向上を図り、多くの市民が3Rに取り組むことで、ごみの減量化や資源循環型社会の実現を目指す。





福知山市は、  
地球温暖化防止に向けた  
国民運動 **クールチョイス** に  
賛同し、持続可能なまちづくりを  
めざします。

# 環境・経済・社会 好循環のまち 福知山



Gee先生

福知山 140.11.11.11  
140.11.11.11  
140.11.11.11

### ⑤由良川に親しむまちづくりの推進

ゴール、 ターゲット番号	KPI(任意記載)	
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="background-color: #00a0e3; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <b>6</b> 安全な水とトイレ を世界中に         </div> <div style="background-color: #00a0e3; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <b>11</b> 住み続けられる まちづくりを         </div> <div style="background-color: #008000; color: white; padding: 5px;"> <b>13</b> 気候変動に 具体的な対策を         </div> </div>	<b>6, 6</b>	指標: 由良川まちづくり事業によるエリア整備
	<b>6, b</b>	現在(2020年2月):
<b>11, 5</b>	基本構想策定中	2022年:
<b>13, 1</b>		整備完了

「豊かな恵み」と「水害」の両面をもたらす由良川沿いにおいて、治水対策事業として国が行う由良川堤防沿いに設置する調節池整備により発生する残土の有効活用等を行い、流域に交流施設を整備し、市内外から多くの利用者が集う交流拠点地域として位置づけ、関係人口、交流人口の拡大を図る。また、初代福知山城主「明智光秀」の時代から連綿と続く治水の歴史・文化の発信と併せて、新たなサステナブルツーリズムにつながる観光資源として整備することによって、由良川をはじめとする自然の恩恵を学び、利水と治水の歴史とともに親水の歴史を新たに築くまちづくりを目指す。



由良川中流域

## (2) 情報発信

### (域内向け)

#### ① 福知山市市民憲章推進協議会と協働した情報発信

本市の市民憲章「幸せを生きる」はふるさと福知山を「幸せの舞台」にし、「共に幸せを生きる」ことを掲げており、その活動を推進する福知山市市民憲章推進協議会と連携し、情報発信することで、SDGsのゴール・ターゲットを身近な社会問題を解決するための共通目標として捉えてもらい、自治体SDGsの取組への理解と協力につなげる。

#### 【福知山市市民憲章】

#### 幸 せ を 生 き る

わたしたちは、ふるさと福知山を“幸せの舞台”にします。  
水清い由良川、緑濃い山々、行き交う人々。  
生き生きとして、伸び伸びとしたふるさとをつくります。  
わたしたちは、ひとりひとりの中に  
人生を自由に美しいものにする力を持っています。  
そのわき出る力を集め、四季を愛し、命を尊び  
共に幸せを生きます。

#### ② 「オレンジのまちづくり」の推進と連動した情報発信

「認知症サポーター」、「子ども虐待防止」、「あいサポーター」のシンボルカラーであるオレンジをモチーフにし、高齢者、子ども、障害のある人の各事業を総合的に推進・発信することで、誰もが生きがいを持って暮らせる福祉のまちづくりを行う「オレンジのまちづくり」連動し、福祉の充実による「幸せの舞台」の実現を目指すことによって自治体SDGsの取組への理解と協力につなげる。

#### ③ インスタグラム「#いがいと！福知山」による情報発信

インスタグラムの公式アカウント「#いがいと！福知山」による情報発信を拡大することによって、SDGsをさらに市民に身近に感じてもらい、多くの人にSDGs推進の必要性を訴求していく。

**(域外向け (国内))**

・地方創生官民連携プラットフォームへの参画による情報発信

地方創生官民連携プラットフォーム分科会への参加によって、自治体SDGsの取組やSDGs3F会員の取組を積極的に情報発信し、共通の課題解決に向けて、取組を行う自治体や企業等との交流、連携につなげる。

**(海外向け)**

①JAPAN SDGs Action Platformに自治体SDGsの取組を掲載し、世界に向けた情報発信を行う。

②国際的なネットワークを有するJICA関西等と連携し、SDGsの取組状況について世界に情報発信を行う。

③福知山市内の民間国際活動団体等の相互の連携・協力を図りつつ各種国際化施策を推進することにより、市民の国際理解を深め、世界に開かれた福知山の実現を目指すことを目的に設立された「福知山市国際交流ネットワーク会議」の参画団体を中心にSDGs推進の取組を発信し、各団体のネットワークを通じて海外に情報発信を行う。

**【福知山市国際交流ネットワーク会議参画団体等】**

福知山公立大学 国際交流センター

フレンドシップ・フォース・オブ京都福知山

福知山ユネスコ協会

福知山市国際交流協会

福知山市日中友好協会

国際交流活動ボランティア(個人)

### 3) 普及展開性(自治体 SDGs モデル事業の普及展開を含む)

#### (他の地域への普及展開性)

#### ・広域連携の取組の推進による京都府北部地域等の圏域全体への普及展開

人口減少による地域コミュニティの衰退や行政サービスの維持・効率化といった共通の行政課題を持ち、それらの解決に向けた広域連携事業を展開する京都府北部地域の自治体や隣接する兵庫県の丹波市、朝来市については、連携の取組を行う上で、本市のSDGsの取組と共通する部分が多く、連携を推進することにより、圏域内の住民・団体・企業に対しても普及展開が図られる。

#### (自治体SDGsモデル事業の普及展開策)

#### ・SDGs3F事業の普及展開

福知山商工会議所、福知山商工会、ドッコイセ！biz等の経営相談機能を活用し、SDGs3F会員の拡大を図るとともに、福知山市ホームページ等を活用した会員情報や活動内容の発信等、市内外への積極的なPR活動を行い、さらなる活動内容の充実、会員拡大により普及展開を図る。

#### ・クールチョイスの普及展開

再生可能エネルギーの導入や省エネルギー化の取組を全市的に普及させるためには、多くの市民・事業者の参画が必要不可欠であることから、地球温暖化等の環境問題や自然との共生による環境保全等の学習機会を設け、市民の意識醸成につなげるとともに、一般家庭の卒FIT太陽光発電電力を地域の小売電気事業者が購入し供給する再生可能エネルギーの普及展開を行うことによって、市民参画による自治体SDGsモデル事業の普及展開を図る。

#### ・由良川防災まちづくりの普及展開

国・府・市などの行政関係者のみならず、地域住民、市民団体、民間事業者と連携し、それぞれの立場で自らの役割を果たすことで、円滑な事業の推進を図るとともに、行政、地元、学識経験者のよる「(仮称)由良川防災まちづくり検討会議」を設置し、事業実施に合わせてPlan・Do・Check・Actionのサイクルに基づき、事業内容について評価を実施し、必要に応じて見直しを行う等、確実な事業の普及展開を図る。

## 1.3 推進体制

### (1) 各種計画への反映

#### 1. 次期総合計画「福知山市まちづくり構想」への反映

2016年3月に策定した本市の総合計画「未来創造 福知山」に掲げる各施策をSDGsのゴールとターゲットに関連付け、一体的に推進していく。

また、「未来創造 福知山」の基本計画の満了期間である2020年度中に新たなまちづくりの指針となる計画を策定する予定であるが、人口減少や少子高齢化問題に対応し、地域課題解決を図る上で、自治体SDGsの取組は必要不可欠であり、本市が主体的に推進していく必要があると考えていることから、次期総合計画の重点施策として位置づけ、進捗管理を行いながら、確実に施策を推進していく。

#### 2. 第2期まち・ひと・しごと・あんしん創生総合戦略への反映

2015年10月に策定した地方版総合戦略である福知山市まち・ひと・しごと・あんしん創生総合戦略については、国の第2期戦略に基づき、現在、第2期総合戦略策定に向けた内容調整を行っており、上記の次期総合計画の策定と合わせて策定していく。

総合戦略の基本目標は、第1期総合戦略のものを継続していくが、人口減少課題や少子高齢化社会に対応するものであり、自治体SDGsが目指すものと同様であることから、第2期総合戦略の施策にも関連付け、一体的に施策を推進していく。

### 福知山市まち・ひと・しごと・あんしん創生総合戦略

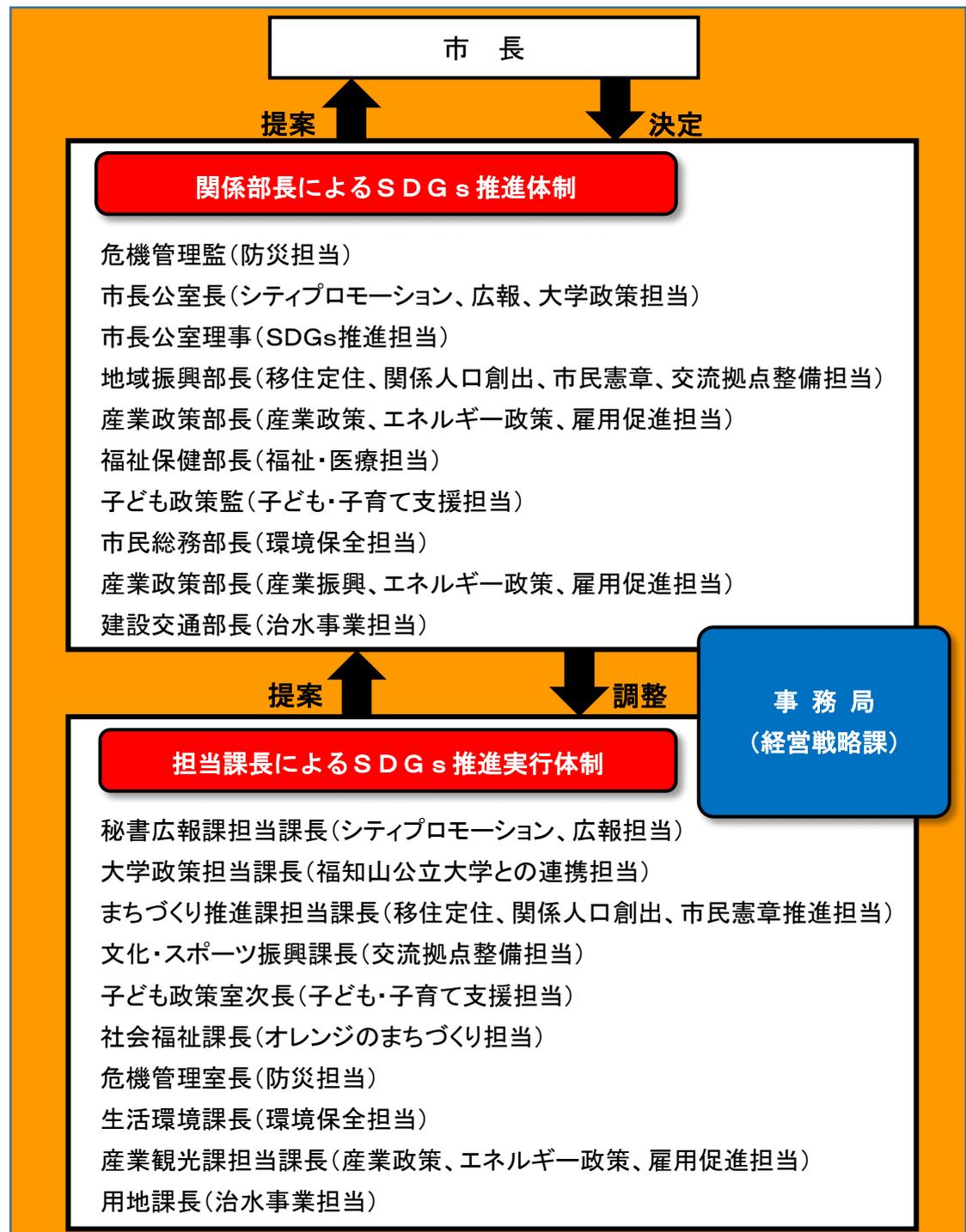
#### 基本目標

- ①福知山市にしごとをつくり、安心して働けるようにする
- ②福知山市への新しいひとの流れをつくる
- ③若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる
- ④時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

## (2) 行政体内部の執行体制

市の重要施策である次期総合計画の策定や第2期まち・ひと・しごと・あんしん創生総合戦略策定体制と連動し、関係課長による実行体制、関係部長による推進体制のもと、市全体の施策の調整を行う経営戦略課を事務局とし、市長をトップとした執行体制を構築する。

【体制図のイメージ】



### (3)ステークホルダーとの連携

#### 1. 域内外の主体

##### (1)福知山市市民憲章推進協議会

市内 58 団体、21 人の個人会員で構成。市民憲章「幸せを生きる」に掲げる幸せの舞台づくりに向けて平成4年(1992年)からまちづくり活動を行っており、基本目標達成に向けた様々な取組は自治体SDGsの推進と連動することから、市民啓発、情報発信等を連携して行う。

##### 【福知山市市民憲章推進協議会の基本目標】

- ①自然を大切に、美しいまちをつくりましょう。
- ②人権を尊重し、互いに助け合い、思いやりのある、あたたかいまちをつくりましょう。
- ③からだをきたえ、仕事にはげみ、活気ある豊かなまちをつくりましょう。
- ④歴史と伝統ある郷土を愛し、教養を高め、文化の香り高いまちをつくりましょう。
- ⑤楽しい出会いをもとめ、交流ある魅力的なまちをつくりましょう。

##### (2)福知山公立大学、京都工芸繊維大学福知山キャンパス

福知山公立大学と隣接する京都工芸繊維大学福知山キャンパスとの連携により、近隣市町や地元企業とのパイプ役としてSDGsの推進や環境保全に関する市民向けの講座等を実施し、市民や企業に対して理解を広める。

##### (3)福知山商工会議所、福知山市商工会、長田野工業センター、福知山市産業支援機構

市内企業に対してSDGsの推進に対する賛同を得るとともに、自治体SDGsの取組に対する理解や協力を得るために連携する。

#### 2. 国内の自治体

##### (1)京都府との連携

京都府域全体における福知山市の位置づけや地域実情を把握し、広域的な視点からより効果的に事業を実施するため、京都府と連携する。

##### (2)京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会、3市連携推進連絡会議との連携

京都府北部地域における福知山市の役割や地域実情を把握し、地域課題の解決を圏域で連携して行うため、京都北部地域の5市2町で構成する京都北部地域連携都市圏形成推進協議会と連携する。また、同様に、隣接する兵庫県の丹波市・朝来市との圏域における地域課題解決等を連携して行うため、3市連携推進連絡会議と連携する。

#### (4) 自律的好循環の形成へ向けた制度の構築等

ドッコイセ！biz等による経営相談機能を活用したSDGs3F会員間の連携促進により、企業によるSDGsをさらに推進する。また、福知山公立大学による市民・企業に対する教育・啓発を行い、SDGs推進に関わる取組への理解と参画意欲を向上させ、インスタグラムを利用した魅力発信(「#いがいと！福知山」の発信)を行うなどの若者を中心とした市民参画を促進することによって、市内外の同取組や関連取組を行う企業・団体同士の連携強化や推進企業の拡大につなげ、SDGs推進のネットワークをさらに強化していくことによって、自律的好循環を形成する。

## 2. 自治体SDGsモデル事業（特に注力する先導的取組）

### 2.1 自治体SDGsモデル事業での取組提案

#### (1) 課題・目標設定と取組の概要

##### (自治体SDGsモデル事業名)

名称: 若者・学生が活躍する幸せの舞台づくり

##### (課題・目標設定)

ゴール4、ターゲット3

ゴール4、ターゲット4

ゴール6、ターゲット6

ゴール6、ターゲットb

ゴール7、ターゲット2

ゴール7、ターゲット3

ゴール7、ターゲットa

ゴール8、ターゲット3

ゴール8、ターゲット6

ゴール9、ターゲット2

ゴール 11、ターゲット5

ゴール 12、ターゲット2

ゴール 13、ターゲット1



##### (取組概要)

「知の拠点」となる福知山公立大学や京都工芸繊維大学による地域人材の育成、ドッコイセ！bizによる起業・創業の実現、由良川治水を地域活性化につなげる由良川防災まちづくり事業の推進により、自然豊かな地域資源を活用し、人が集う、若者・学生にとって魅力あるまちづくりを行う。

## (2) 三側面の取組

### ① 経済面の取組

ゴール、 ターゲット番号	KPI	
 4, 4 8, 3	指標: 福知山市創業支援等事業ネットワーク会議による創業支援 による創業者数ドッコイセ! biz等を活用した創業者数	
	現在(2018年): 年間 23人	2022年: 年間 32人

#### ①-1 福知山市産業支援事業

ドッコイセ! bizの相談機能と指導力を活かし、新機軸を持つ人材や企業と、福知山公立大学や京都工芸繊維大学、あるいは高度技術を持つ企業や組織を結び付け、起業や創業を促し経済の活性化を図る。

#### (事業費)

3年間(2020~2022年)総額: 88,674千円

### ② 社会面の取組

ゴール、 ターゲット番号	KPI	
 4, 3 4, 4 8, 6 9, 2	指標: 福知山公立大学卒業生の北近畿地域への就職者数	
	現在(2018年3月): 4人	2022年: 30人

#### ②-1 福知山公立大学「知の拠点」推進事業

福知山公立大学と京都工芸繊維大学福知山キャンパスを北近畿の地方創生を牽引する「知の拠点」と位置づけ、両大学の文理連携を推進し、地域の課題解決や高度情報化に

対応する人材の育成によって地域産業の振興、雇用の確保を行い、地域活性化につなげる。

**(事業費)**

3年間(2020～2022年)総額:106,755千円

**③ 環境面の取組**

ゴール、 ターゲット番号	KPI	
 6 安全な水とトイレを世界中に 6, 6 6, b	指標: 由良川防災まちづくり事業によって整備される交流拠点施設の市外利用者数	
	現在(2020年2月): —	2023年: 3,000人
 11 住み続けられるまちづくりを 11, 5 13, 1		
 13 気候変動に具体的な対策を		

**③-1 由良川防災まちづくり事業**

「豊かな恵み」と「水害」の両面をもたらす由良川であるが、治水対策事業として国が行う調節池整備により発生する残土を有効活用し、交流拠点施設を整備することにより、市内外から多くの利用者が集う環境・交流の拠点地域として、関係人口の創出や交流人口の拡大を図る。また、明智光秀が築いた福知山城及び城下町における水運による利水、洪水対策による治水の歴史とともに発信を行い、サステナブルツーリズムの推進による地域活性化も目指していく。

ゴール、 ターゲット番号	KPI	
 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 7, 2 7, 3 7, a	指標: 再生可能エネルギーへの電力転換箇所数	
	現在(2020年2月): —	2023年: 4箇所
 12 つくる責任 つかう責任 12, 2		

**③-2 クールチョイス宣言に基づく再生可能エネルギー・省エネルギーの普及展開**  
 ・公共施設への再生可能エネルギーの供給

福知山市役所本庁舎、教育関連施設への再生可能エネルギーの供給をモデル的に行い、民間施設等への普及に向けた事業展開を目指す。

・公共施設等のLED化推進事業

福知山市役所本庁舎や教育関連施設のLED化、街路灯のLED化を進め、地域全体の省エネルギー化を目指す。

**(事業費)**

3年間(2020～2022年)総額:872,839千円

(3)三側面をつなぐ統合的取組
(3-1)統合的取組の事業名(自治体SDGs補助金対象事業)
<p><b>(統合的取組の事業名)</b>  事業名:SDGs3F(Fukuchiyama・Future・Friendship)事業</p> <p><b>(取組概要)</b>  福知山市市民憲章推進協議会、福知山公立大学、ドッコイセ! biz、福知山市によるSDGs推進体制を組織化し、様々な分野でSDGsの推進に貢献する企業をSDGs3F会員として認証し、企業間連携を図るとともに、市民参画による情報発信によって、人材育成や人材確保、環境保護、産業活性化を一体的に推進する。</p> <p><b>(事業費)</b>  3年間(2020~2022年)総額: 3,880千円</p> <p><b>(統合的取組による全体最適化の概要及びその過程における工夫)</b>  SDGs3F会員同士による交流促進や会員のSDGs推進に資する活動を積極的に発信することにより、販路拡大等により域内経済の活性化につなげる。経済活性化による雇用拡大、税収増加、消費拡大等によって、まちの活性化や都市整備を推進し、本市への若者を中心とした転入人口の拡大、関係人口の創出を行う。  また、本市のシティプロモーションのブランドメッセージである「いがいと!福知山」を使用したインスタグラムの公式アカウント「#いがいと福知山」による情報発信を行い、若い世代を中心とした転入人口増加につなげていく。</p>

(3-2) 三側面をつなぐ統合的取組による相乗効果等(新たに創出される価値)

(3-2-1) 経済⇔環境

(経済→環境)

KPI (環境面における相乗効果等)	
指標: 3F会員による環境保全活動の取組数	
現在(2020年2月):	2022年:
—	10取組

SDGs3F会員の研修会や報告会等のネットワーク事業をより充実させることにより、環境保全や持続可能な社会づくりに貢献する企業数を増やすとともに、それぞれの取組強化につなげ、環境への取組を一層促進する。

(環境→経済)

KPI (経済面における相乗効果等)	
指標: 環境面におけるSDGs推進に取り組む企業同士の連携による取組数	
現在(2020年2月):	2022年:
—	6取組(累計)

環境面の取組を行うSDGs3F会員同士の連携・強化を図ることによって、企業間同士によるビジネスチャンスの拡大につなげ、経済活性化を促進する。

(3-2-2) 経済⇔社会

(経済→社会)

KPI (社会面における相乗効果等)	
指標: 生産人口比率減少率	
現在(2015年10月):	2025年:
5.2%減	人口減少率と同率以下

安定した雇用の場の確保、魅力ある仕事の創出により、Uターンを促進し、若い世代の人口減少を抑制するとともに、市外からの転入者を増加させることにより、生産年齢人口の減少を抑制し、人口減少・少子高齢化対策といった社会問題解決につなげる。

**(社会→経済)**

KPI (経済面における相乗効果等)	
指標: 福知山公立大学卒業生の北近畿地域への就職者数	
現在(2020年見込み): 4人	2022年: 30人

福知山公立大学では地域経営や高度情報化社会に対応できる人材育成を行っており、当地域における地域産業を担う人材確保により、地域経済の活性化が一層促進される。

**(3-2-3) 社会⇄環境**

**(社会→環境)**

KPI (環境面における相乗効果等)	
指標: 河川愛護・里山保全活動への年間参加者数	
現在(2019年3月): 70人	2023年: 100人

移住定住の促進や関係人口の拡大・創出を目的に、水清い由良川や緑濃い山々など、自然と共生するまちの魅力をPRすることによって、自然環境を大切にする市民の意識の醸成につなげ、環境保全活動の活性化が一層促進される。

**(環境→社会)**

KPI (社会面における相乗効果等)	
指標: 由良川防災まちづくり事業によって整備される交流拠点施設の市外利用者数	
現在(2019年3月): —	2020年: 3,000人

由良川親水によるサステナブルツーリズムの推進による交流・関係人口の創出・拡大によって、地域の賑わい創出による活性化や将来的な移住定住に貢献し、若者が活躍できるまちづくりが一層促進される。

#### (4) 多様なステークホルダーとの連携

団体・組織名等	モデル事業における位置付け・役割
福知山公立大学	産業活性化に資する人材育成や、生涯学習講座の提供等を通じて、市民のSDGsへの理解を促すとともに、近隣自治体や民間企業とのパイプ役として自治体SDGsの普及展開を共同して行う。
福知山市市民憲章推進協議会	協議会活動を通じて、SDGs推進の取組への理解を求めることによって、市民や民間企業・団体に対して自治体SDGs事業の普及啓発を共同して行う。
福知山産業支援センター 「ドッコイセ！ biz」	販路拡大や起業・創業支援等の経営相談を通じて、SDGs推進に取り組む企業同士のマッチングを行い、自治体SDGs推進の企業間ネットワークの拡大及び連携強化を共同して行う。

## (5) 自律的好循環の具体化に向けた事業の実施

### (事業スキーム)

#### ①福知山公立大学

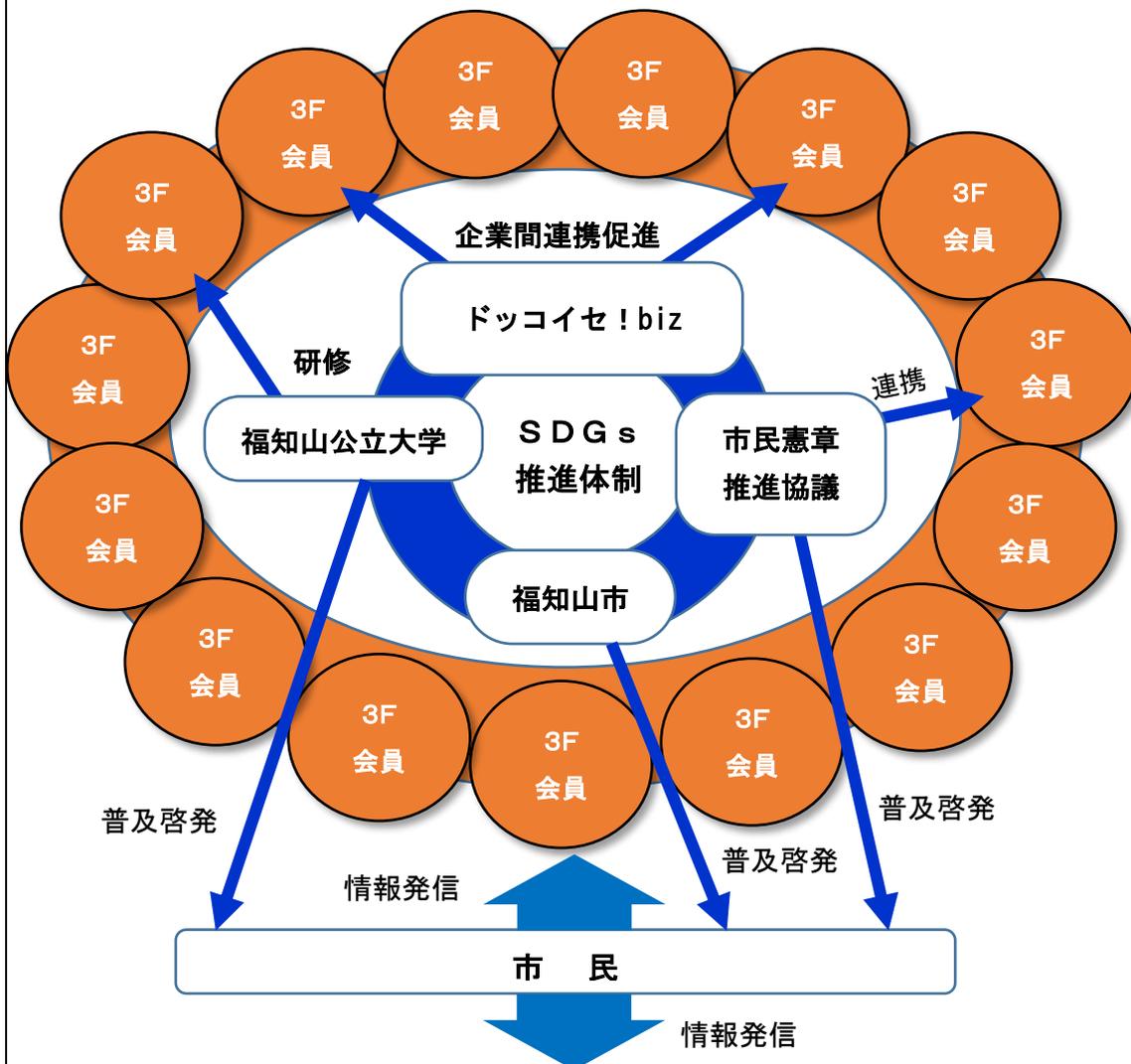
市民やSDGs3F会員に対して、持続可能な地域づくりに関する環境保全、地域経営、高度情報化に関する教育機会を提供し、自治体SDGsを推進する。

#### ②福知山産業支援センター「ドッコイセ！biz」

SDGsのゴール・ターゲットの達成に係る取組を行う企業のネットワークを活用し、企業間マッチングを行い、取組強化や営業拡大を支援する。

#### ③福知山市市民憲章推進協議会

SDGsのゴール・ターゲットの達成に係る取組を協議会の活動を通じて市民や会員団体への普及展開と協議会会員とSDGs3F会員との連携を図り、ネットワークの拡大・強化を行う。



### (将来的な自走に向けた取組)

福知山公立大学等の教育機関によるSDGsへの市民、企業に対する教育・啓発を行い、地域貢献や参画意欲の向上を図り、インスタグラムによる福知山市公式アカウント「いがいと！福知山」での市民による情報発信を行い、自治体SDGsの普及啓発をさらに後押しする。

また、ドッコイセ！bizによるSDGs3F会員企業同士の連携促進により、さらなる自治体SDGsに取組に対する理解が深まるとともに、SDGsのゴール・ターゲットの達成に向けた取組が拡大していく。

### (6) 資金スキーム

#### (総事業費)

3年間(2020～2022年)総額: 1,072,148千円

(千円)

	経済面の取組	社会面の取組	環境面の取組	三側面をつなぐ統合的取組	計
2020年度	29,558	36,755	173,199	2,480	241,992
2021年度	29,558	35,000	375,136	700	440,394
2022年度	29,558	35,000	324,504	700	389,762
計	88,674	106,755	872,839	3,880	1,072,148

#### (活用予定の支援施策)

支援施策の名称	活用予定年度	活用予定額(千円)	活用予定の取組の概要
地方創生推進交付金(内閣府)	2020	14,779	福知山市産業支援の取組のドッコイセ！biz運営に係る部分(申請済)
地方創生推進交付金(内閣府)	2020	11,750	福知山公立大学「知の拠点」推進の取組の産業振興、広域連携に係る部分(申請済)
地方創生拠点整備交付金(内閣府)	2021、2022	335,212	由良川防災まちづくり事業に係る交流拠点整備に係る部分(申請予定)
CO2削減簿テンシヤル診断業務補助金(環境省)	2020	2,000	クールチョイスのCO2削減に係る部分について、活用予定(申請予定)

#### (民間投資等)

地方創生推進交付金事業については、積極的に企業版ふるさと納税の募集を行い、活用することで民間資金を活用するとともに、自治体SDGsの推進に対する支援者の輪を拡大することにつなげる。

(7)スケジュール

	取組名	2020年度			2021年度	2022年度
統合	SDGs3F会員募集・会員認証	事業計画の策定 (～8月)	協議会の設置 (～10月)	会員認証・募集に向けた体制整備 (～1月)	会員募集・拡大 (2021年2月～2023年3月)	
経済	ドッコイセ！bizによるSDGs3F会員拡大	連携内容の検討 (～8月)	協議会の設置 (～10月)	会員拡大に向けた相談機能の体制整備(～1月)	会員募集・拡大 (2021年2月～2023年3月)	
社会	福知山公立大学「知の拠点」推進事業	連携内容の検討 (～8月)	協議会の設置 (～10月)	産業振興機関、雇用促進関係機関との連携(～3月)	事業所・近隣市町との連携、普及啓発研修会の実施 (2021年～3月)	
環境	由良川防災まちづくり事業	事業計画の策定 (～8月)	関係者との調整 (～10月)	実施設計 (～3月)	交流拠点整備 (2023年～3月)	
	再エネ・省エネの普及展開	再エネ・省エネモデル事業計画策定 (～8月)	再エネ・省エネモデル事業の実施、市民参画の仕組みづくり(～3月)		再エネ・省エネモデル事業の普及展開 (2023年～3月)	

2020年度SDGs未来都市全体計画提案概要(提案様式2)

提案全体のタイトル: 自然の恵みと人財育成で創生する「幸せの舞台」福知山 | 提案者名: 福知山市

全体計画の概要: 合計特殊出生率は1.96と、近畿で2位、全国で14位と高いものの、進学や就職で都市部に流出し、生産年齢人口の減少率が大きいという課題解決に向けて、分譲開始から40年を超えた長田野工業団地の創業環境の整備や福知山公立大学とbizシステムの連携による若者の起業・創業等で、働く場の創出を図るとともに、由良川の治水と親水事業を同時に進めるまちづくり事業や、LINEの活用等による子育て相談の充実によって、安心・安全なまちづくりを進め、若者・学生が活躍する「幸せの舞台づくり」を目指す。

1. 将来ビジョン	地域の実態	2030年のあるべき姿
	<p>①生産年齢人口の減少率が大きく、特に20歳代前半の転出が多く人口減少が進む</p> <p>②自然豊かな由良川だが度重なる水害により、明智光秀の時代から治水と共に歩んできた</p> <p>③北近畿唯一の4年制大学である公立大学に情報学部を新設し、IT人材の育成を始める</p>	<p>①地域の資源を活かし、新しい人の流れ、しごとをつくり安心して働けるまち</p> <p>②自然災害に強く、安心・安全に暮らせるまち</p> <p>③ふるさとの美しい自然の恵みに感謝し、自然と共生するまち</p>
2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール・ターゲット		<p>(経済) 福知山公立大学とドッコイセ! bizの連携による若者の起業・創業の実現、長田野工業団地を軸とした産業振興による働く場の創出</p> <p>(社会) 多用ニーズに対応した子育て支援施策充実による人口減少の抑制、シティプロモーションの推進による地域の魅力発信、きめ細やかな対応による移住定住施策、関係人口創出の取組、福知山公立大学による地域を担う人材育成等による転入人口の拡大</p> <p>(環境) クールチョイス宣言に基づく地球温暖化対策や資源の3R運動による環境に配慮し、自然との共生による循環型社会づくり</p>

2. 自治体SDGsの推進に資する取組	自治体SDGsに資する取組	情報発信	普及展開性
	<p>①SDGsの推進に取り組む企業の認証、情報発信</p> <p>②LINEの活用等による子育て支援による出生数確保</p> <p>③産業振興と連動した公立大学卒業生の雇用確保</p> <p>④市民参画による再エネ事業の展開、エネルギー域内循環モデルの構築</p> <p>⑤由良川の治水の歴史文化の発信と併せた交流拠点の整備等によるサステナブルツーリズムの推進</p>	<p>①幸せの舞台づくりを目指す市民憲章の普及啓発に取り組み市民活動団体と連携した情報発信</p> <p>②子ども、高齢者、障害のある人の支援を全市的に行う「オレンジのまちづくり」と連動した情報発信</p> <p>③市民によるインスタグラム「#いがいと福知山」による情報発信</p>	<p>SDGs推進に取り組む企業同士を結び、連携や協働によって、さらなるSDGs推進企業の輪を拡大する。</p> <p>再エネ事業の普及を図る上で、市民が電力供給に協力できるシステムを構築し、市民参画によって普及展開する。</p>

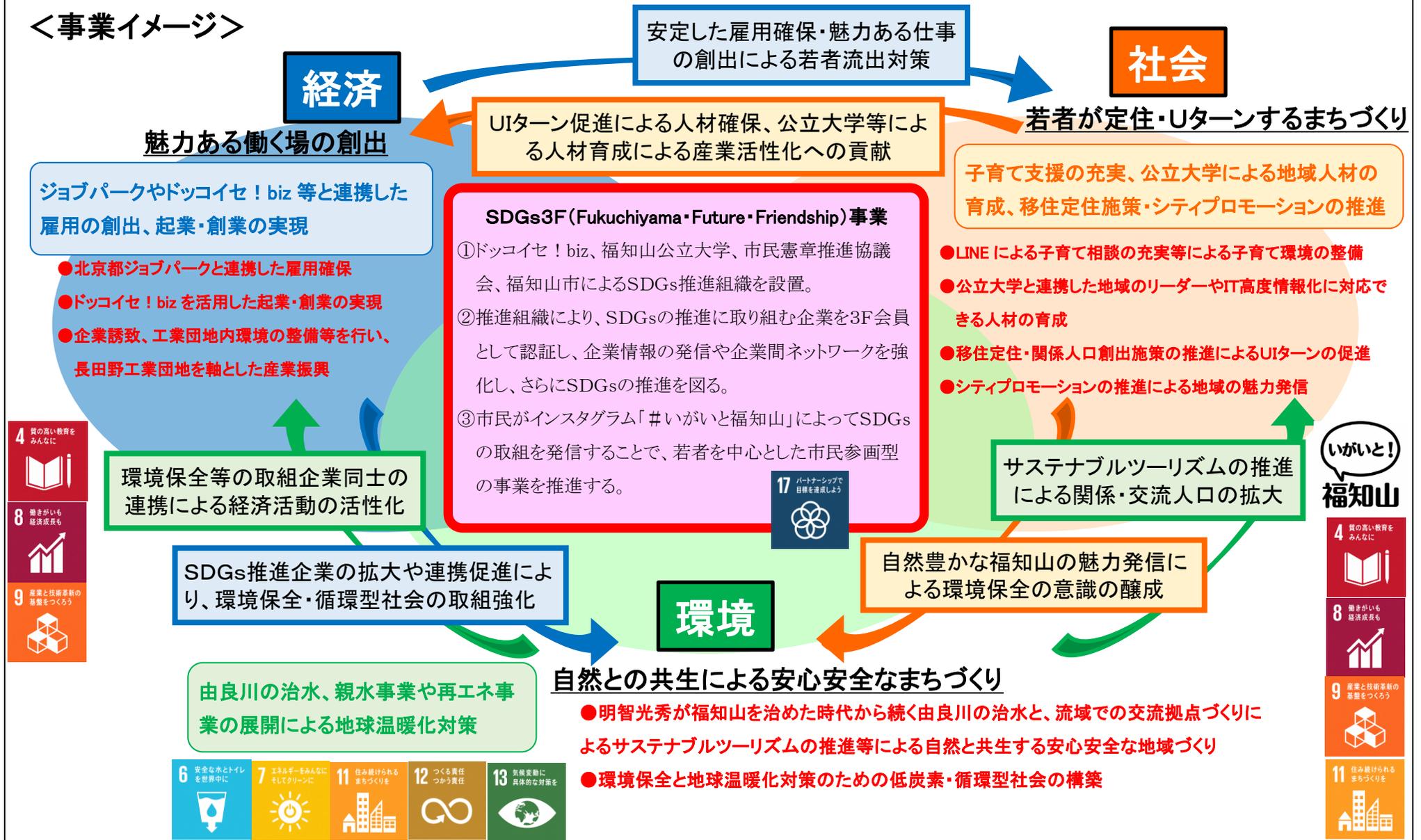
3. 推進体制	各種計画への反映	行政体内部の執行体制	ステークホルダーとの連携
	<p>①新総合計画「福知山まちづくり構想」</p> <p>②第2期まち・ひと・しごと・あんしん創生総合戦略</p> <p>上記①②の計画に自治体SDGsの取組を一体的に進め、KPIの達成状況も含めて進捗管理を行い、推進していく。</p>	<p>次期総合計画の策定及びそれと連動する第2期まち・ひと・しごと・あんしん創生総合戦略策定体制のもと、SDGsの取組を両計画の重点施策として関連付け、首長をトップに関係部課長による自治体SDGs事業の推進体制を構築する。</p>	<p>①福知山公立大学: 生涯学習講座による普及啓発、民間企業と行政とのパイプ役となり普及展開</p> <p>②市民憲章推進協議会: 協議会活動と連動した普及展開</p> <p>③ドッコイセ! biz: 経営相談を通じたSDGsの普及展開</p>
自律的好循環の形成へ向けた制度の構築等		<p>SDGsを推進する企業をSDGs3F会員として認証し、ドッコイセ! biz等の相談機能を活用した会員間の連携促進や、福知山公立大学による市民等への教育・啓発によってSDGs推進に関わる取組への理解と参画意欲の向上を図り、インスタグラムを利用した魅力発信(「#いがいと! 福知山」の発信)を行うなど、市民参画につなげ、市内外の同・関連取組を行う企業間連携や推進企業数の拡大につなげ、SDGs推進をさらに強化する。</p>	

自治体SDGsモデル事業名:若者・学生が活躍する幸せの舞台づくり

提案者名:福知山市

都市部に流出する若者のUターンを促進するとともに、全国から集う福知山公立大学の学生の定住を促すため、企業や市民の参画できる仕組みを構築するなかで、魅力ある働く場の創出や自然と共生し、安全・安心して暮らせるまちづくりを産・学・官が連携のもと推進し、若者・学生が活躍する「幸せの舞台づくり」を目指す。

<事業イメージ>



4 質の高い教育をみんなに

8 働きがいも経済成長も

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

4 質の高い教育をみんなに

8 働きがいも経済成長も

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

11 住み続けられるまちづくりを

6 安全な水とトイレを世界中に

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

11 住み続けられるまちづくりを

12 つくる責任 つかう責任

13 気候変動に具体的な対策を

